

様式2 災害用備蓄リスト

7日間を目安とした備蓄数を準備し、準備したものにチェックをつける。適宜、要・不要な項目があれば追加・削除する。定期的に確認し、使用期限があるものは、入れ替えを行う。準備した日付を右上に記載する。

品目	必要性・使用法	留意点	
人工呼吸器	蘇生バッグ	停電による呼吸器停止時に、手で呼吸を確保する道具	手の届く位置にすぐに使える状態にしておく。複数の人が使えるよう日頃から練習しておく。
	外部バッテリー	停電時の電源 ① 常につないでおくタイプ ② 停電時につなぐタイプ	②のタイプはつなぎ方を練習しておく。月1回は充電する。バッテリー劣化のため2年を目安に交換する。持続時間を確認する。
	蓄電池	正弦波が出るタイプのものを選ぶ。充電や作動確認の方法については販売業者に確認。	
	発電機	発電機を直接人工呼吸器につなぎ作動させることは推奨されていない。必ず主治医と人工呼吸器取扱事業者を確認する。	発電機は一酸化炭素中毒の危険性があるため必ず屋外で使用する。定期的に作動状況を確認する。
	シガーソケット・ケーブル	必要に応じて準備する。普通車で一般的に使用される電気は直流（DC）12Vであり、家庭用電源（AC）100Vとして使用する場合はインバーターが必要。	医療機器との接続はかかりつけ医や医療機器販売業者と平常時から相談する。必ずエンジンを駆動させてからつなぐ。
	延長コード（三又プラグ）	自家用車や発電機から電気をとる場合や避難所で使用するために準備する。	医療機器の中には三又プラグが必要な場合があるので確認する。
	人工鼻	鼻の代わりに吸った空気に加温加湿する（加温加湿器の代替方法）	使用について主治医と相談しておく。人工鼻は加温加湿器とは併用しない。
	パルスオキシメーター（電池式）	血中酸素飽和度、脈拍数を測定する。	乾電池で作動するタイプを用意する。
	(予備)呼吸器回路一式	災害時の影響による破損等に対応するため	一式は準備しておく。
(予備)気管カニューレ	長期の避難やカニューレ抜去等の事故にそなえて、カニューレ交換できるよう準備。		
吸引	吸引器	充電式や足踏み式の吸引器が必要	充電式は常に充電しておく。バッテリーが劣化するため2年に1度は交換する。
	(予備)吸引チューブ	平常時の吸引回数を考慮し、7日分以上の量を準備する。	
在宅酸素	酸素ボンベ	使用状況に応じて必要本数を準備。かかりつけ医や医療機器販売業者と話し合っておく。	

品 目		必要性・使用法	留意点
衛 生 材 料	アルコール綿 滅菌グローブ 蒸留水ほか	平常時の吸引回数等を考慮し、7日分以上の量を準備する。	
薬・栄養	薬、経腸栄養剤	7日分以上を準備し、最新の処方箋をコピーしておく。	薬や滅菌物は使用期限があるため、定期的に確認し、確認した日付を記載する。
一般	懐中電灯・電池	介護用にはランタン型やヘッドランプ型が便利である。	懐中電灯やラジオ等の種類に応じた電池を多めに準備する。